

紙面から

教育随想

「自然の大切さを

子供たちに伝えよう」

財団法人 ソニー教育振興財団

専務理事 鳥津 久永氏

羅針盤

リコーダーの楽しい基礎指導

音楽科指導員 山本 知子

この人に聞く

アルミ缶集め十五年

安藤千壽枝氏

特集

こんにちは 釜山の友達

ふれあい

A子とロシア語

モスクワ日本人学校 加藤 環

師弟同行

前矢作西小学校長 内田 一男

新香山中学校 宇野 友啓

フォト・ヒストリー 岡崎の教育

尋常高等小学校 (大正八年)



月報

岡崎の教育

10月号

平成11年10月1日

発行/編集  
岡崎市教育委員会

今月の学校紹介  
～生平小学校～



野鳥と共に  
心を耕し続ける  
子供たち



傷ついた野鳥を保護する子供たち



パソコンで野鳥新聞作りをする子供たち

『知ろう 学ぼう 守ろう ふるさとの自然 広めよう 愛鳥活動』





## 自然の大切さを子供たちに伝えよう

財団法人

ソニー教育振興財団

専務理事 島津久永



五月の半ば過ぎ、知合いの方からの連絡を受けて、東京から一時間余りで行ける低山地帯の森へと向かった。小さな集落を抜け、車止めの柵を越えると、鬱蒼とした木々に蔽われた林道に入る。生憎の小雨だが、小径の脇を流れるせせらぎが耳に心地よい。思ったより平坦な林道を歩くことおよそ三十分。大きく蛇行している流れに沿って岩角を曲ると、そこが目的の場所だった。土曜日とあって先着の男女が数人、三脚を立てたり、双眼鏡を目にあてて佇んでいる。その先十数メートルの、川に張り出した広葉樹の細い枝が二股になったところに、目指すものはあった。コップ状に作られた巣の上に、ほんの少しだけ顔を出した鳥の姿。眼の周りに彩やかなコバルト・ブルー。目をこらしてみると、斜め横に

少し垂れ下がったながあい糸のような尾。まぎれもないサンコウチョウの雄だ。小一時間の間に雄と雌が二回交替し、巣の中の雛に餌を与えている様子がはっきり観察できた。感動に満ちたひとときを過ごした後、このつがいの子育てに成功して無事南へ帰って行くことを祈りながら、その場をあとにした。

しばらく前までは日本のあちこちに渡って来たサンコウチョウが、今では滅多に見られない鳥になってしまった。サンコウチョウだけではない。日本に来る夏鳥のほとんどが激減しているという。日本での繁殖のための環境が悪化していることも一因であろうが、それ以上に、越冬地である東南アジアの熱帯雨林の減少などが原因ではないかとも言われている。環境の変化に敏感な野鳥を観

察していると、極めて微妙なバランスの上に成立っているこの美しい地球の自然を、何としてでも守らなければいけないという気持ちが高まって来る。

今年の七月六日に、連尺小学校を会場として、「環境教育フォーラム'99 in 岡崎」が開催された。昨年度のソニー教育資金論文最優秀校である同校では、身近な自然を見つめ、ありのままの自然を感じることから出発する環境教育を論文の中心に据え、学区内のツバメの巣やアゲハの観察などの実践を行って来た。予てから環境教育の重要性を認識し、これを支援する機会を探っていた私も財団では、同校の取組みを評価し、全国の環境教育先進校の先生方にも参加を呼びかけて、本フォーラムを開催することとしたものである。二十一世紀を問近に控え、人類が直面している最大の問題は地球環境問題である。これを解決しない限り、人類に未来はない。日本の将来を背負って立つ子供たちにこのことを正しく理解させることは、何にも増して大切な我々の責務である。百年後、そして千年後の地球においても、この美しい自然の中で人間と動植物が楽しく共存している姿が、はかない夢に終わらないことを祈るばかりである。

(しまづ ひさなが)



## リコーダーの楽しい基礎指導

音楽科指導員

山本知子

「先生、リコーダー、いつももらえるの」——リコーダー学習を心待ちにしていた子供たち。O先生の授業は、そんな子供たちの吹いてみたい欲求を満足させながらも、リコーダーの基礎をきちんと押さえた楽しい時間であった。「シシラソ」の短いフレーズを、歌と交互に演奏するグループ練習の場面。優しい笑顔で、丁寧に指導して回るO先生はもちろんのこと、苦手な友達に自分で吹いて教えてあげたり、一人ずつ聴き合い活動を始める子供たちにも、大変感心させられた。

構え方や穴のふさぎ方、タンギングの方法など、基本的なことに丁寧に声をかけて子供たちの意識を高めてこられたO先生の指導が、彼らの練習を、自然と熱心なものにさせたのは言うまでもない。リコーダーを手にしたばかりの子供たちにとって、



# ふるさとシリーズ この人に聞く



## アルミ缶集め十五年

安藤 千壽枝 氏

庭先のヒマワリが太陽に向かって一杯咲いている八月、矢作のお宅でお話を伺った。安藤さんは、今年岡崎市制施行八十三周年記念式典で篤行者として表彰を受けられた。市内のある共同作業所の資金に少しでも役に立つようと、アルミ缶集めを十五年も続けられたきっかけをお聞きした。

「矢作東小を最後に退職するに当たって、この先何をやるかと思っていた時、知人の盲人の方からボランティアを勧められたのです。」  
初めは、点字や開放図書館をやっ

てみたそうであるが、諸事情があり続けられなかった。そんな折、共同作業所ができ、たまたまそこを見に行く機会があったという。

「そこで出会った人たちの姿を見て、何かこの人たちのためになることができないだろうかと思いました。教職にある間はおかげで五体満足な子供たちと楽しく過ごしてきましたが、今度は障害のあるこの人たちのためにと思ったのです。」

当時はまだ無認可の施設であったため、資金を得るために廃品回収に頼っていた。それを手伝ううちに、アルミ缶を集めようと決心されたそうである。一口にアルミ缶集めといっても、安藤さんが手掛けたところはスチール缶の方が多く、アルミ缶は探さなければ手に入らなかった。

「ごみ収集の日に出されるごみ袋から、缶を探しました。今のような分別収集はないにしても不燃と可燃の区別はあり、主に不燃ごみの中に入っていました。ですから、全部の袋を開けました。見付けては自転車に積んでごみ置き場を回り、きれいに洗い乾かし袋に詰め、作業所に運びました。」

そんな安藤さんの姿を見て、だんだんと地域の方たちが協力をしてく

れるようになったそうである。

「一度も恥ずかしいと思ったことはありません。いつも母に『こうして生きていられるのは、みんなのおかげ』と教えられてきましたから、だれかのお役に立ちたいと常々思っていました。ですから、あの人たちのためにという気持ちを持ってやってきました。そうしたら、いつの間にか十五年過ぎていました。」

一人でごみの中からアルミ缶を探し始めてから、缶集め一筋に十五年。まさに篤行である。心洗われ、頭の下がる思いがした。

氏名 あんどう ちずえ  
生年月日 大正十年九月八日  
住所 矢作町新田一番地二十五



自分たちもきれいな音で吹けるようになりたいという願いから、十五分間の練習はあつという間に過ぎた。

子供たちはこの短い時間の中で、すでに「リコーダーの音とのかかわり方」を学びつつあるのだ。まさにこのような子供たちの反応が、中学校のリコーダー奏につながる「生きる力」であろう。「個と集団がかわる」音楽活動の中でこそ、子どもたちの感性や創造性が育つことを教師は忘れてはならない。

### 【推薦する専門書】

『小学校教員のための歌唱指導ガイドブック』 教育芸術社

『創造的に取り組む身体表現』

音楽之友社





▲体育館で民族舞踊を披露する冬柏中生（竜南中）

名古屋から飛行機で一時間二十分の釜山市。そこは、国境を越えた大韓民国の都市である。近年、国際理解教育が話題になりつつあるが、今年の夏、岡崎市内の三小中学校が、それぞれ釜山市内の学校と交流を行った。

この夏、六名小学校には、楊亭初等学校の児童が訪れた。六年生の各学級で、ジャンケン・折り紙・お手玉などの遊びを通して親睦を深め、少年自然の家での活動や宿泊を共にした。

竜海中学校からは、生徒が影島女子中学校を訪問した。また、竜南中学校は、冬柏中学校と交流し、時期を変えて、双方の生徒がお互いの学校を訪問した。両中学校とも、訪問



▲子ども美術博物館を見学（竜南中）



▲ホストファミリーとの対面式（竜南中）

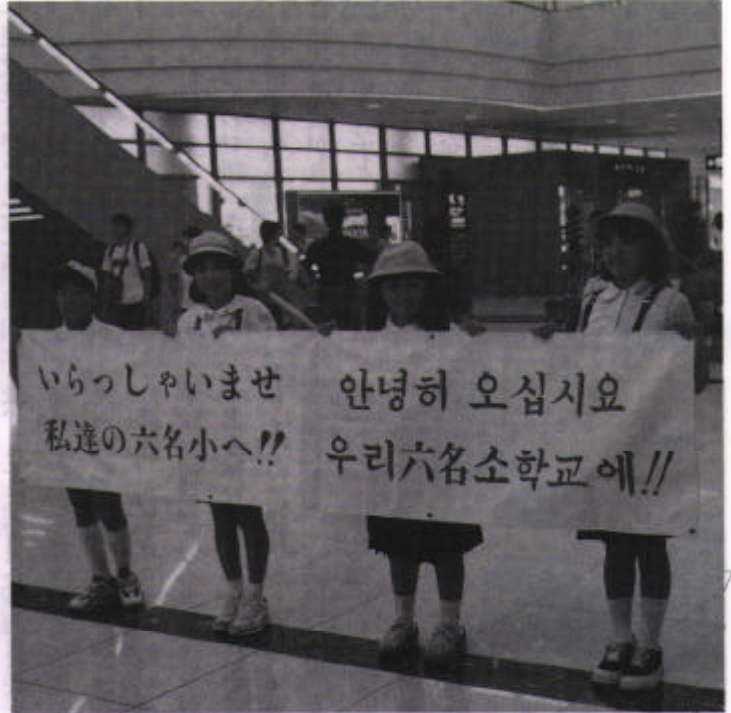


▲名古屋空港で冬柏中生を歓迎（竜南中）





▲ジャンケン遊び (六名小)



▲かわいい親善大使が出迎え (六名小)



▲いっしょに折り鶴 (六名小)



▲ホームステイ先で民族衣装を着て記念撮影 (竜海中)

先では生徒間の交流が深まることを考え、ホームステイを行った。

竜南中学校では平成七年から、六名小学校と竜海中学校では平成十年から、それぞれの学校との交流が始まっている。当初は三校とも教師による交流からスタートしたが、現在では子供たちによる交流にまで発展してきている。

岡崎市内には、留学生を招いたり、電子メールなどを利用したりして、積極的に国際交流に取り組んでいる学校もある。言葉の壁を見事に越え、子供たちに国境はない。学校での国際交流がきっかけとなって、グローバルな視野を持った国際人が育ってほしい。



▶ 影島女子中での民族舞踊の歓迎 (竜海中)



## ふれあい

## A子とロシア語

モスクワ日本人学校  
（在籍岡崎市立六名小学校）

加藤 環

A子は三、四年（日本）、五年（ロシア）と一度も登校したことのない子だった。しかし六年生の始業式の日、A子は教室に姿を見せた。

A子は口語（ロシア語）の授業を最も気にしていた。初級は彼女一人。そこで私も、A子と共に授業を受けた。お互い初めての口語、キリル文字に頭は大混乱だった。しかし、口語の授業がきっかけとなりいつしかA子といろいろな話ができるようになってきた。

二学期になり学習発表会の時期がきた。A子は、口語劇で上級クラスの子もためらうような役に立候補した。しかも劇中で演奏するカルメンでは、バス木琴のパートに挑戦をした。時間的な制約や経験



不足から、A子自身かなり不安を感じていた。A子は時間さえあれば、友達や私と口語劇のせりふの練習をした。「先生、もうせりふ覚えたあ。」がA子の口癖となった。本番では、口語劇も木琴の演奏も見事にやってのけた。その日、下校バスに乗る時、A子は、「練習は大変だったけど、学校でこんなに楽しかったことは初めて。」と言って帰っていった。この後、A子は委員会で委員長を務めるなど、校内でも活躍が見られるようになった。

現在、A子は日本へ帰り中学校へ通っている。時折手紙が来るが、手紙の内容はいつも学校の話ばかりである。

## やる気を引き出す指導

新香山中学校

宇野 友啓

私が中学生のころの先生に對する印象は、「物静かに話をされる先生」でした。しかし、教職に就いてから振り返ってみると、先生には上手にコントロールしていただいたことに気付きました。

どちらかというところ、生意気な生徒だった私に、「宇野君、どうだ。やってみないか」と、生徒会などの表舞台に私を引き出してくださったのが、先生でした。また、悪さをした時など、「宇野君、そりゃ、まずいぞん」と優しくたしなめてくださったのも、先生でした。

中三の反抗期を迎えた時も、先生に言われると、なぜか断れない気持ちになっ



どうしても敬遠しがちな生徒会役員も引き受け、会長の任務を立派に果たしました。

前年度、テニス部が県大会で準優勝したので、県大会での優勝を目指し燃えていました。市、西三と順当に勝ち進んだものの、県大会では惜しくも三位に終わった、あの悔しさは忘れないでしょう。

部活動を通して、「努力すれば必ず報われる」を体験し自信を付けたと思います。君が教師の道を選び、同じテニス部の顧問として活躍していることを聞き、大変うれしく思います。

## 信頼される教師

前矢作西小学校長

内田 一男

常磐中学卒業生で、テニス部顧問として指導している教え子が数名いるのもうれしい限りです。

宇野君は中学当時「級長」という愛称で親しまれ、友達からも絶大な信頼を得ていました。文字どおりクラスや学校のリーダーとして、また部活動ではテニス部ですばらしい活躍をしました。

宇野君が、これからも身体に十分注意され、学校の中堅教師として、生徒への思いやりの心を忘れず、保護者、地域、職員からも信頼される教師を目指し、精進されることを祈っています。



お知らせ



◆第二十四回岡崎市小中学生

統計グラフコンクール

市長賞

- ・竜美丘小 四年 鈴木 瑤子
- ・竜美丘小 六年 鈴木奈穂子
- ・美川中 三年 杉木 智美
- ・六ツ美中 三年 鈴木 裕太

市議会議長賞

- ・竜美丘小 五年 荒井 浩介
- ・竜美丘小 五年 丸目 名穂
- ・竜美丘小 五年 平國はるか
- ・竜海中 二年 酒井 孝康

教育委員会賞

- ・竜美丘小 四年 見並 克俊
- ・北中 一年 畔柳 雄一
- ・竜南中 三年 畔柳江美子

学校賞

- ・竜南中学校
- ・竜美丘小学校

◆第四十二回中部日本吹奏楽

コンクール県大会

- ・大編成の部 竜海中学校
- ・最優秀 小編成の部 岩津中学校

◆平成十一年度愛知県中学生

ソフトテニス大会

- ・男子 二位 常磐中 中根・中村
- ・女子 三位 福岡中 村山・星野

◆第五十三回愛知県中学校総

合体育大会

- ・陸上競技男子 優勝 矢作中学校
- ・三位 新香山中学校
- ・水泳競技男子 優勝 竜海中学校
- ・相撲 優勝 竜海中学校

優勝

- ・バレーボール男子 二位 六ツ美中学校
- ・バスケットボール男子 二位 城北中学校
- ・陸上競技女子 二位 矢作北中学校

(個人) 優勝

- ・陸上競技男子二千五百M 竜海中 伊藤 正人
- ・陸上競技男子百十MH 岩津中 梶本 健太
- ・陸上競技男子走幅跳 矢作中 藤井 勇史
- ・陸上競技女子三年百M 矢作北中 内田 琴美
- ・陸上競技女子百MH 矢作北中 堀 真弓
- ・陸上競技女子走高跳 陸上競技男子百M背泳ぎ 竜海中 中村 亮太

・水泳競技男子四百MメR

竜海中 中村・高木

- ・三位 竜海中 伊藤 正人
- ・陸上競技男子二千M 三位 常磐中 鷲見 知彦
- ・陸上競技男子百十MH 三位 岩津中 梶本 健太
- ・陸上競技女子百MH 二位 矢作北中 堀 真弓
- ・陸上競技女子一年百M 三位 矢作中 日下部かほり
- ・陸上競技女子走高跳 三位 矢作北中 本田 唯

◆第二十一回東海中学校総合

体育大会

- ・バレーボール男子 三位 六ツ美中学校
- ・バスケットボール男子 三位 城北中学校
- ・陸上競技男子二年百M 優勝 美川中 酒井シェリコ

(個人)

- ・陸上競技男子二年百M 優勝 美川中 酒井シェリコ

- ・優秀賞 羽根小 五年 長田 早織
- ・三島小 六年 永田 夕貴
- ・附属小 六年 築瀬由布子

- ・「夏休み電気の旅」感想作文コンクール
- ・県緑化推進委員会会長賞 連尺小 三年 荒井奈穂子
- ・徒緑化・愛鳥作品表彰

- ・美川中 三年 杉木 智美
- ・平成十一年度愛知県児童生

- ・奨励賞 南中 三年 杉田 恵子
- ・優秀賞 美川中 三年 杉木 智美
- ・平成十一年度少年の主張愛知県大会

- ・優秀賞 羽根小 五年 長田 早織
- ・三島小 六年 永田 夕貴
- ・附属小 六年 築瀬由布子



▲全国中学校相撲選手権大会・竜海中学校



# フォト・ヒストリー 岡崎の教育

## 尋常高等小学校 (大正8年)

・カット

矢作西小 長谷川勝一

尋常小学校、高等小学校の名称は、明治十九年の小学校令公布から、昭和十六年に国民学校と改称されるまで続いた。  
額田郡本宿尋常高等小学校は第一校舎（富田病院の付近）と第二校舎（大幡バス停付近）に分かれていたが、大正八年、現在の位置に移されて一つになった。写真はその当時のものである。新しい教室の窓は、それまでの障子からガラスに変わり、とても明るく感じたそうだ。



写真提供 本宿小

姿勢を正して、堂々と胸を張る生徒たち。体の汚れも気にせずグラウンドを縦横無尽に走る。組み立て体操も最後の段階になった。中央に高々と塔がそびえ立つ。泥まみれ、汗まみれになった練習の成果が大きな感動に報われる一瞬。今年も感動をありがとう。

シオ

スア

崇敬の念を抱かずにいられない安藤さんの心。たった一つのアルミ缶を求めつつ、ひたすら十五年。ただあの人たちのためにと、ごみ袋から缶を探すその姿は美しい。だれもができそうで、そう簡単にはできないことではない。

折り鶴を教える岡崎の子。その指先を見詰める釜山の子。出来上がった折り鶴には、どんな願いが込められたのか。この折り鶴は、子供たちの心の中で国境と言葉の壁をはるか高く越えて飛んだことであろう。そして、二十一世紀に向けて飛び立ったに違いない。

愛着を感じていたそれぞれの校舎に別れを告げるのは寂しかったらう。だが、全校児童が一つの校舎に集う喜びの方が大きかったに違いない。大型トラックもない大正という時代の校舎移転の大変さは、便利さに慣れたことになった我々には、想像もつかない。



- \* 古い風景 渡辺 哲雄 ￥1050  
中日新聞社
- \* 心の教育 関根 正明 ￥1500  
学陽書房
- \* 相田みつを いのちのことは育てたように子は育つ 佐々木正美 ￥1575  
小学館
- \* 可能性を拓く心の法則 織田 善行 ￥934  
ビジネス教育出版社

\* 笑いのトレーニング  
ハリーン・グローヴァー著・金 利光訳 東京図書 ￥1800  
笑いの効用は、大方の認めるところである。笑うと血液の循環が促進され、ホルモンの分泌を促し、強力な免疫が働くというのである。  
本書では「笑いのエアロビクス」、「笑いのエクササイズ」、「笑いのイメージ」などと、笑いを体内に取り込むユニークな話題を提供している興味を湧く。自分を笑いから遠ざけているものをできるだけ排除しようと、著書は訴えている。  
一見軽い本のようにもあるが、内容はけっこう豊かで濃い。